

センサー混合栓  
713-401

# 取扱説明書



○ 株式会社 カクダイ

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎06(6538)1124

M-B9832

無断転載・複写を禁ず

・奥交世事う東京に料客はき品才體  
・里見・長谷川  
本製品を正しくご使用いただくためにも、  
この「取扱説明書」を必ずお読みくださるようお願い申し上げます。  
なお、お読みになった後は大切に保管しておいてください。



## 安全上のご注意(必ずお読みください)

必ず実行していただく  
「強制内容」です。

してはいけない「禁止」  
です。

分解しないでください。

■取付け作業は、作業手順に基づき確実に行ってください。不完全な取付けは故障・事故の原因となります。

■通水する前に本体回転止めネジ(2ヶ)の締め込み状態を再確認してください。締め込んでなかったり締め込みが不完全だと、本体が外れ漏水などの事故の原因となります。

■使用済み電池は、ご使用となる地域の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

■万が一水が止まらなくなったときは、止水栓を閉めて止水してください。そのまま放置しておくと漏水などの事故の原因となります。

■給水ホースの接続は、確実に行ってください。必ず両方の配管を接続してください。また湯と水の逆配管は絶対にしないでください。火傷の原因となります。

■必ず上水道にてご使用ください。中水道や異物を多く含む水を使用した場合、故障の原因だけでなく誤って飲用した場合は、体調を損ねる場合があります。

■本製品を仕様に記された指定範囲内の条件でご使用ください。指定範囲外の使用は故障・事故の原因となります。

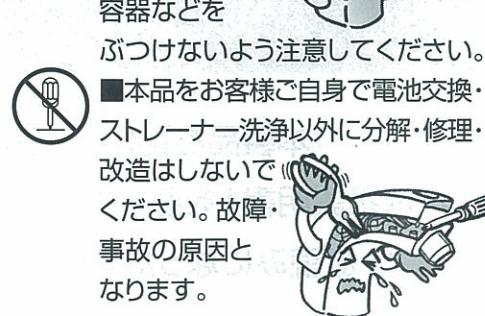
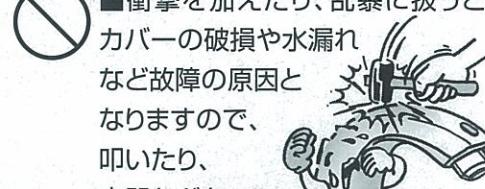
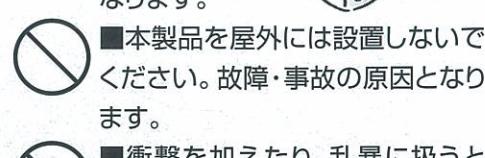
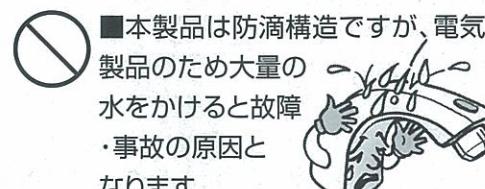
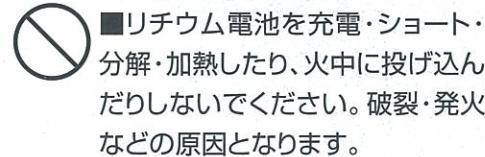
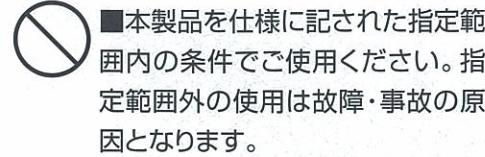
■リチウム電池を充電・ショート・分解・加熱したり、火中に投げ込んだりしないでください。破裂・発火などの原因となります。

■本製品は防滴構造ですが、電気製品のため大量の水をかけると故障・事故の原因となります。

■本製品を屋外には設置しないでください。故障・事故の原因となります。

■衝撃を加えたり、乱暴に扱うとカバーの破損や水漏れなど故障の原因となりますので、叩いたり、容器などをぶつけないよう注意してください。

■本品をお客様ご自身で電池交換・ストレーナー洗浄以外に分解・修理・改造はしないでください。故障・事故の原因となります。



## (目次)

安全上のご注意	P.1
目次	P.2
1 仕様書	P.2
2 各部の名称	P.3
3 特長と作動の仕組み	P.4
4 取付け前のご注意	P.4
5 本体の取外し方	P.5
6 電池の装着	P.6
7 給水	P.6
8 湯水調整及び設定位置の固定	P.7
本体上部の取外し・取付け方(メンテナンス時の取外し・取付け)	P.7
9 電池交換	P.8
10 センサー窓LEDの表示について	P.9
11 お手入れ	P.9
12 故障かな?と思ったら	P.10
13 アフターサービス	P.10

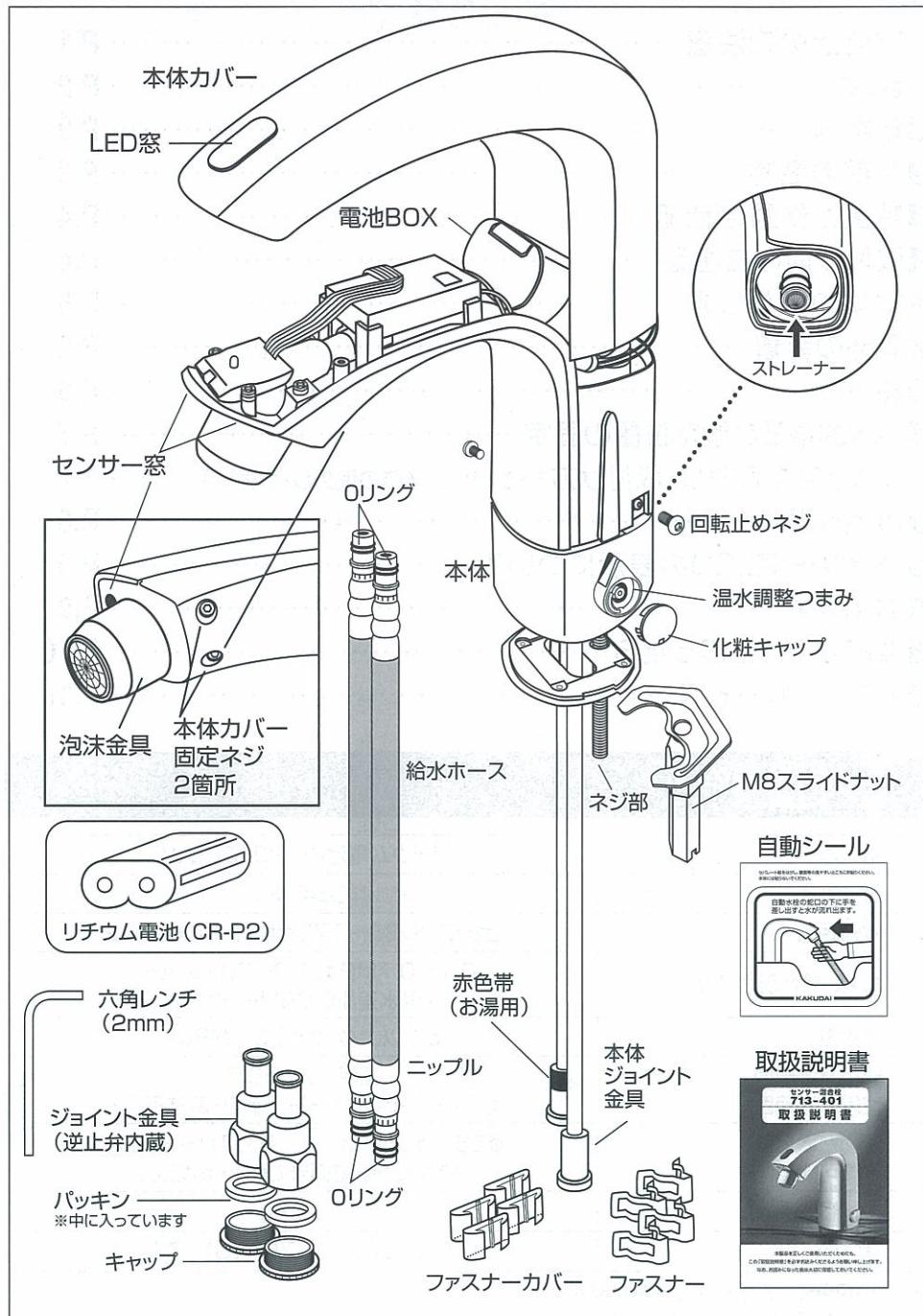
## 1 仕様

電 源	リチウム電池CR-P2(DC6V)
電池寿命	約2年 ※1
検知距離	吐水口より30~170mm(自動設定)※2
給湯・給水圧力使用範囲	0.1~0.7MPa(1.0~7.1kgf/cm <sup>2</sup> ) (湯水差圧0.05MPa以内)
吐水量	5ℓ以上/分(水圧0.4MPa)
使用室温範囲	室温+1~50℃
使用水温範囲	水温+1~50℃(一般上水道・凍結不可)
洗面台取付穴	φ25~φ38mm 厚さ10~30mm
設置可能範囲	(穴中央から壁面まで50mm以上)
質 量(本体)	約1.6kg
寸 法	(H) 158×(W) 76×(D) 173

※1: 使用条件、環境により異なります。

※2: 大人の手のひらに対する距離

## 2 各部の名称(付属品含む)



## 3 特長と作動の仕組み

### ■自動的に吐水・止水

赤外線センサーで、人の手を検知。自動的に吐水・止水ができます。

### ■節水ができる、衛生的

手を検知した時だけ吐水するので節水効果抜群。蛇口に直接触れないで衛生的です。

### ■堅牢な設計

高級感あふれるボディは、耐久性に富み、精密なセンサーをしっかりガードします。

### ■湯水調整つまみの設定位置が固定できます

不特定多数の方が使用する環境の場合、湯水調整つまみで設定した位置を固定することができます。

### ■オートストップ機能付

検知エリア内に障害物が置かれることにより、水が流れっぱなしになってしまっても、約30秒経過すると自動的に止水します。

### ■電池交換時期と電池切れをお知らせします

LEDの点滅により、電池交換時期と電池切れによる停止を表示します。

### ■電池交換が簡単です

電池ボックスは本体の中にありますので、立ったまま楽に電池交換ができます。

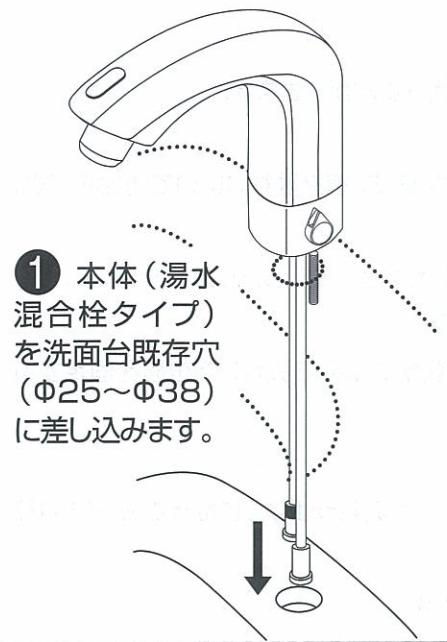
### ■取付けが簡単です

電池ボックスや電磁弁などは全て本体の中に収納した一体型ですので、洗面台への取付けが簡単にになりました。

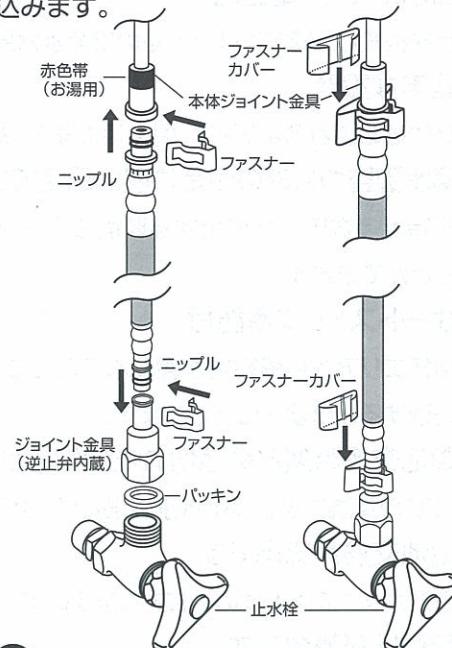
## 4 取付け前のご注意

- ① 取付けする洗面台の取付穴が本製品に適合しているか、再度ご確認ください。(φ25~φ38mmに適応)
- ② 製品と付属品をお確かめください。
- ③ 本製品は、屋内用(浴室を除く)です。
- ④ 接続する配管は上水道をご使用ください。  
凍結のおそれがある場所では使用しないでください。

# 5 本体の取付け方



- 4 本体ジョイント金具に給水ホースのニップル部を真っすぐ差し込み、接合部をファスナーで固定し、ファスナーカバーを差し込みます。



- 5 止水栓への接続はジョイント金具のキャップを外し、中のパッキンを入れたままスパナなどで締付けて固定してください。続いて給水ホースのニップル部を差し込み、接合部をファスナーで固定してください。最後にファスナーカバーを差し込みます。

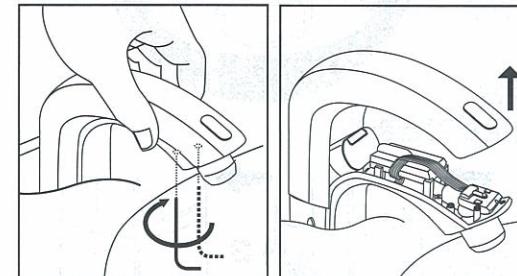
(漏水防止のため付属のパッキンを必ずお使いください)

- !
  - ・給水ホースが抜けないことを確認してください。
  - ・湯と水の逆配管は絶対にしないでください。火傷の原因となります。
  - ・給水ホースの接続は、ホースの根元に力がかかるないよう、緩やかに曲げてください。
  - ・ニップルの「Oリング」がはみ出でていないか必ず確認してください。
  - ・ファスナーカバーは、確実に装着されているか必ず確認してください。

# 6 電池の装着

- 1 付属の六角レンチで本体カバー固定ネジ2箇所を緩め、カバーを引き抜き上げます。

(※工場出荷時は本体カバー固定ネジは締め付けていません)



- 3 リチウム電池(CR-P2)を下図のように(電極を下に向ける)入れ、



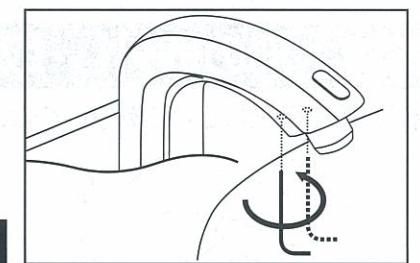
!  
濡れた手での装着はおやめください。

- 2 下図のようにボタンを押しながら電池ボックスのフタを開けます。



- 4 手を出して動作確認をします。  
※正常に動作しない場合は電池を抜いて、30秒間放置してから再度電池を入れてください。

- 5 最後にカバーをかぶせ、付属の六角レンチでカバーと本体を本体カバー固定ネジで2箇所締付け固定します。



# 7 給水

以上で取付けは完了です。必ず給水側の止水栓を先に開き、水漏れがないか確認してください。センサの前に手を差し出して吐水をご確認ください。給湯の止水栓を開き、湯温と流量を調整してください。火傷の恐れがありますので、給湯の止水栓の調整には、十分注意してください。

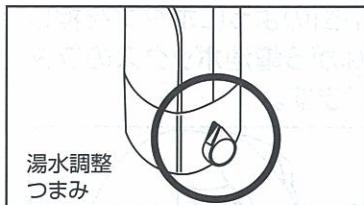
※本体の湯水調整つまみでは、流量の調整を行うことはできません。

!  
火傷の恐れがありますので、お湯側の止水栓は先に開けないでください。

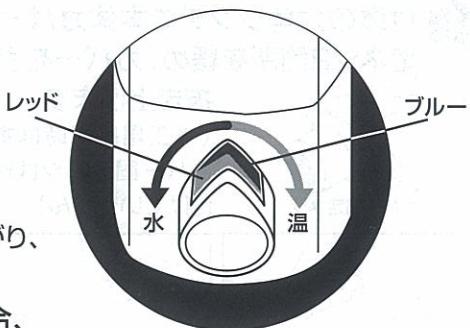


# 8 湯水調整及び設定位置の固定

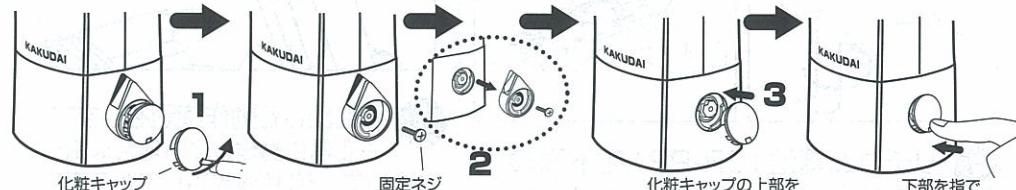
※季節の変化、水温、水圧の変化により設定温度が変わる場合があります。



湯水調整つまみを反時計回りで温度が下がり、時計回りで温度が上がります。



- 不特定多数の方が使用する環境の場合、湯水調整つまみで設定した位置の固定ができます。

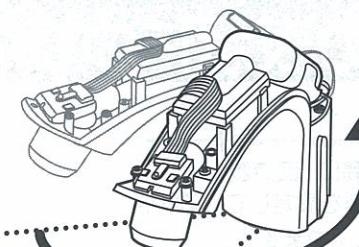
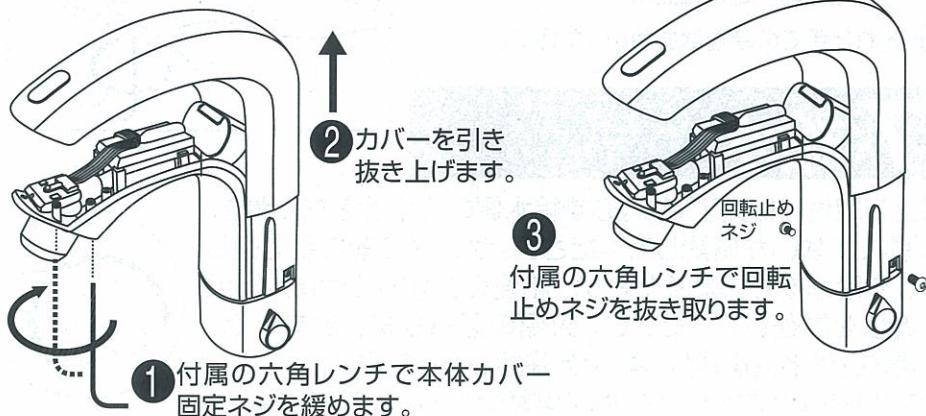


- 1.湯水調整つまみで温度を設定し、下側の切り欠き穴に小さめのドライバーなどを差し込み、手前に引いて化粧キャップを外します。  
2.中の固定ネジを外し、つまみを取外してください。(※取外したつまみと固定ネジは必ず保管してください)  
3.化粧キャップの上部をはめ込み、最後にその下部を押してください。

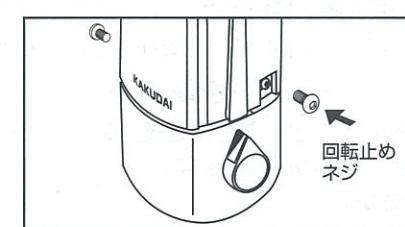
- ※元に戻す場合は、化粧キャップを外し湯水調整つまみを切り欠き部分に合わせ、固定ネジで締め付けてから、化粧キャップを取り付け温度調整をしてください。

## 本体上部の取外し・取付け方(メンテナンス時の取外し・取付け)

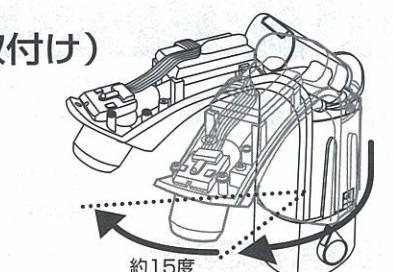
- ! 取外しする前に止水栓を閉じてください。



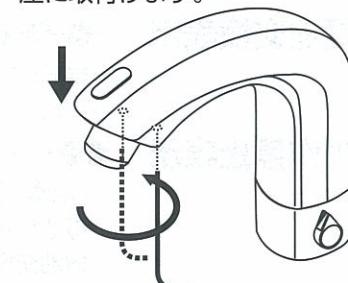
- ④ 本体上部を反時計周りに約15度回した後、上に持ち上げます。



- ② 回転止めネジを付属の六角レンチで締め付け固定します。



- ① 本体を図のように軽く押し込んで、時計周りに約15度回し、取付け台座に取付けます。



- ③ 本体カバーをかぶせ、付属の六角レンチで本体カバー固定ネジで2箇所締め付け固定します。

# 9 電池交換



電池交換が必要になると、手を検知している時だけ、カバー上面にある検知・電池交換表示(表示LED)が、赤く点滅(1秒間に5回)しますので新しい電池と交換してください。(P6…電池の装着参考)さらに電圧が低下すると検知・吐水を停止しますが、停止後48時間は表示LEDだけが点滅(3秒間隔で2回連続点滅)します。

### 電池交換の手順

- 古い電池を取り外します。
- 必ず、30秒間お待ちください。
- 新しい電池を装着します。
- 電池を装着して3秒間LEDが点滅し、自動的に検知距離を設定します。この時、5秒間はセンサー窓の前に手を出さないでください。検知距離が正しく設定されません。

### ■正常に動作しない時は

電池装着後の動作確認の際に正常な動作が行われていない場合には、電池を抜いていただき、30秒放置してから再度電池装着を行なってください。

※使用している電池はリチウム電池CR-P2型です。

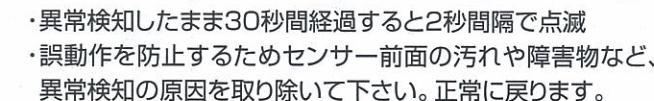
# 10 センサ窓LEDの表示について

## ■電池装着時

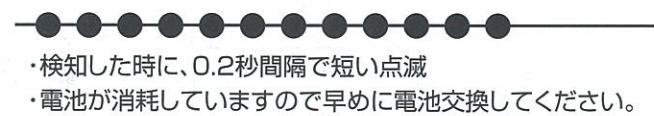


- ・センサーが検知距離を設定している状態
- ・5秒後に使用可能になります。

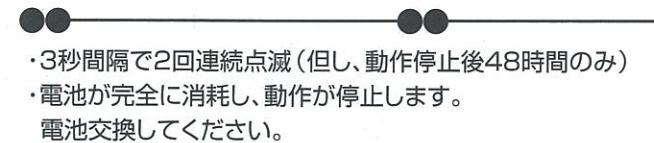
## ■異常検知表示



## ■電池交換表示



## ■動作停止表示



# 11 お手入れ

■汚れを落とす際には、乾いたもしくはかたく絞ったやわらかい布で拭いてください。

■シンナー、ベンジン、アルコール類液、酸・アルカリ性洗剤、研磨材等は使用しないでください。傷や変色、変形などの原因となります。

■ブラシ、タワシ類などでこすると傷の原因となります。

■センサー部の汚れや傷は、誤動作による故障・事故の原因となります。汚れたときにはやわらかい布で拭いてください。

## ストレーナーと泡沫整流器の清掃

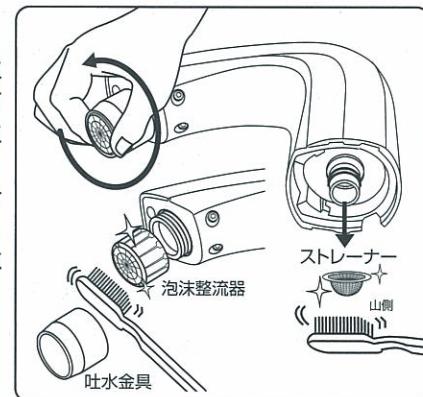
（水の出が悪くなったら…）

■使用中、水の出が悪くなったら、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられます。ストレーナーは本体部に入っています。本体部を取り外し、ストレーナーについたゴミをやわらかいブラシ等で洗い流してください。

ストレーナーは清掃する際の脱着で变形や損傷を受ける場合がありますので、十分注意してお取扱い願います。同時に吐水金具の中の泡沫整流器もブラシ等で水洗いし、清掃してください。

！ ストレーナーを必ず装着してから取付けてください。故障の原因となります。

！ 取付けの際には、必ずストレーナーの山側を下に向けて取付けてください。



# 12 故障かな？

故障かな？と思ったら…

修理を依頼される前に、次のことを確認してください

症状	確認していただきこと	処置のしかた	参照ページ
水またはお湯が出ない	電池切れていませんか	電池切れでしたら、新しい電池と交換してください	P.6 P.8
	電池が正しくセットされていますか	向きが違っていたら正しい向きに直してください	P.6
	ストレーナーが目詰まりしていませんか	ストレーナーを外して掃除をしてください	P.9
	センサー部の前に障害物がありませんか又、障害物を長時間放置していませんか	あれば取り除いてください。それでも水が出ない場合は、電池を一度抜き取り、30秒後に再度入れ直してください	P.6 P.8
	水またはお湯側の止水栓は閉まっていますか	閉まっていたら反時計回りに開いてください	P.6

※上記の箇所を調べても復旧しない場合は電池の寿命切れが考えられますので、その場合は新しい電池と交換してください

人がいないのに水が出てしまう	センサー前面に水滴がついたり、汚れたりしていませんか センサー部の前に障害物がありませんか（但し、30秒でオートストップ）	水滴は拭き取ってください。汚れたらきれいにしてください あれば取り除いてください	P.9 P.8
吐水口からの水モレが止まらない	止水栓を閉めすぎていませんか ストレーナーを装着しないで取付けていませんか	止水栓を開いて水量を増やしてください お求めになった販売店へご連絡ください	P.6 P.9

※上記の箇所を調べても復旧しない場合は止水栓を閉めてください

以上の確認をされても、元に戻らない場合はお求めになった販売店へご連絡ください

# 13 アフターサービス

アフターサービスについて

- ①保証書はお買い上げ日などの記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年間です。万一故障の際は、保証書に基づき修理いたします。お買い上げの販売店までお申しつけください。
- ③保証期間を経過した後、修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店までご相談ください。修理により本品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- ④本品の修理対応年数（機能を維持するために必要な部品の最低保有年数）は製造終了後5年といたします。なお、期間経過後も故障内容によっては、修理が可能な場合もありますのでお買い上げの販売店又は、弊社までお問い合わせください。